

カリヨン

CARILLON

日本赤十字秋田看護大学 日本赤十字秋田短期大学

P2-5... 特集

赤十字の学生たちの活動

- ① 学生交流フォーラム
- ② 赤十字防災ボランティアステーション
- ③ Red Cross Relief Club
- ④ 赤十字奉仕団



P6-15... 1年間を振り返って ~イベント報告~

P16... CARILLON INFORMATION

学報



2020
No.09

○カリヨンとは（フランス語：Carillon）教会の塔などに吊り下げられる音程を異にする多数の鐘。16世紀以来、特にフランドル地方（現フランス領）で発達し、自動装置を持つものもある。赤十字の理念より「人道・博愛・奉仕」を3つの鐘に投影した大学のシンボルとして、平成8年の短大開学時に設置された。これにちなんで本学学園祭も「カリヨン祭」と呼んでいる。

赤十字の 学生たちの活動

特集：本学の学生たちの活動① 2020年1月25日

学生交流フォーラム

2020年1月25日（土）、秋田市中通のカレッジプラザを会場に、秋田県内の学生による「学生交流フォーラム：ちいきとだんわとがくせいと」を開催しました。

このフォーラムは、秋田県内の高等教育機関などが参画し、高大連携授業や大学間単位互換などの事業を展開している団体「大学コンソーシアムあきた」が主催となり、地域交流活動やボランティア活動を行っている学生団体の活動の内容を地域の皆様に知ってもらうためのイベントとして、また、異なる大学に通う学生間の交流を一層促すことを主な目的として、本年度はじめて開催されました。本学からは今回、下記の3つの学生団体が参加し、それぞれポスターセッションによる活動紹介や、活動内容を紹介するプレゼンテーションの発表などを行い、多くの来場者の関心を集めていました。

- 活動②赤十字防災ボランティアステーション……………P03
- 活動③RCRC（Red Cross Relief Club）……………P04
- 活動④赤十字奉仕団……………P05

大学コンソーシアムあきた
学生交流フォーラム

ちいきと
だんわと
がくせいと

秋田県内には地域交流活動やボランティア活動を行っている学生団体がたくさんあります。その活動はどれも様々な学業ならではの取り組みが見られるものばかりです。そこで今回は市民のみならずその活動を知ってもらい広げや対話を行うイベントを開催します。

2020年1月25日(土)
12:30～16:00

会場/カレッジプラザ 大講義室・講堂
（秋田市中通2丁目1-1） 秋田県立大

学生団体による活動紹介
ポスターセッション

参加無料

プログラム

【大講義室】	【講堂】
12:30～16:00	13:00～15:45
ポスターセッション	参加団体による地域活動の発表

参加団体

- 秋田大学 / 秋田県立大学 / 国際基督教大学
- 秋田看護福祉大学 / 日本赤十字秋田看護大学
- 日本赤十字秋田短期大学 / 秋田公立美術大学

主催/大学コンソーシアムあきた/学生交流フォーラム実行委員会 後援/秋田県立UCC・協議会
協賛/秋田大学/大学コンソーシアムあきた/事務局(赤十字秋田)

TEL: 018-889-2543 FAX: 018-889-2194 E-MAIL: ccs@ccs-uak.ac.jp



赤十字防災ボランティアステーション

日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学における赤十字の災害・防災ボランティア活動に係る教育・研究及びそれに係る赤十字運動の啓蒙を組織的に推進・支援するとともに、災害時等において本学の教育・研究成果を活用して赤十字の理念を実践することで、地域社会との連携による防災力の強化を図ることを目的として設立されました。



● 主な活動紹介

- ① 災害時に避難所となる場所で防災教室を開催
小学校、特別支援学校、高等学校などの生徒を対象に、避難所の運営方法を学んでもらう活動をしています。
- ② 受講対象者の特性に最適化した防災教室を開催
女性、親子、子育て中の方、外国人、障害者、高齢者など、対象者の特性に最適化した防災教室を開催しています。
- ③ 災害時避難所運営担当者に対する防災教室を開催
秋田県警察本部、秋田県庁、秋田市、秋田県教育委員会、秋田県国際交流協会、秋田県聴力障害者協会など、行政機関や教育機関等に対する防災教室を開催しています。



● 台風19号被害に伴う 災害ボランティア活動

2019年10月12日～13日に日本列島を通過した台風19号。同時多発的に河川氾濫や大規模冠水、浸水が発生し、それと同時に風による倒木や家屋破損など、各地に甚大な被害をもたらしました。赤十字防災ボランティアステーションでは、宮城県石巻市社会福祉協議会(災害ボランティアセンター)、石巻赤十字病院、石巻赤十字看護専門学校と連携し、10月26日～11月17日に災害ボランティア活動を行ってきました。

「赤十字防災ボランティアステーション」の詳細につきましては
公式Webサイトをご覧ください。

<https://vs.www.rcakita.ac.jp/> 赤十字防災ボランティアステーション



RCRC (Red Cross Relief Club)

赤十字が行っている国際活動などについて、さまざまな機会を設けて勉強したり、実際に活動されている方からお話を伺ったり、自ら体験する活動を行っているサークルです。

大阪赤十字病院 国際活動体験ツアー

日本赤十字社の国際医療救護拠点病院である大阪赤十字病院主催の「看護学生のための国際体験ツアー」に、RCRCから3名の学生が参加しました。救護で使用するテントも自分たちで設置したり、事例についてみんなで検討したりしました。食事は派遣先の国へ到着した場面を想定して、トランシーバーを使って探しに行ったり、活動場所の決定をしたりして大学の講義だけでは学ぶことができない実際の活動内容を学ぶ機会となりました。



学内での勉強会

赤十字の特色に関する活動を、学生同士で学び合いました。5月に「命について考える」、「赤十字の原則」について、6月には「包帯法」、10月には「国際救援に関するDVD視聴」を企画し、学びを深めました。「包帯法」は赤十字救急法に則って、三角巾の使い方から額や膝の手当を教え合いながら実践しました。「DVD視聴」は、秋田赤十字病院から派遣された看護師の中村きよえさんの海外派遣までの経緯から帰国後までDVDを通して知ることができました。

RCRC English

2018年の秋頃から国際教養大学大学院生を講師としてお招きし、英語で道案内や居場所を知らせる表現や一次救命処置の声掛けを教わりました。2019年7月14日に、講師の友人で中国人の大学院生もお招きし、日本の好きな文化や食べ物を英語で質問することができました。高校まで習得した英語を日常生活のなかで実際に使える表現を楽しく学ぶことができ、もっと英語を話せるようになりたいという気持ちになりました。



国際活動体験ツアー in AOMORI

1泊2日の体験ツアーで、赤十字の国際活動を学ぶことができました。日赤青森県支部の建物内で実際にトランシーバーを持ち、海外で救護活動を行う前に、各フロアを移動し情報収集や計画立案をしました。実際に海外で救援の経験がある方話から、数少ない物資、人員の中で患者の尊厳をいかに尊重しながら医療支援することの難しさを学びました。また、海外派遣員になるために今できることは、英語を学生のうちにできる限り学んでおくこと、看護師の他に保健師や助産師など、さまざまな資格があると活動の幅が広がることなどのアドバイスをいただきました。

特集：本学の学生たちの活動④

赤十字奉仕団

災害救護や献血の推進、救急法の普及など、赤十字の人道的事業を推進するために活動しているボランティア活動が中心のサークルです。活動は自主参加で、メンバーは勉強の合間を縫って参加しています。本学のほか、秋田県内の3大学と合同で活動しています。



赤十字奉仕団：秋田県青年赤十字奉仕団、日赤秋田看護大・短大学生赤十字奉仕団、ノースアジア大学厚生委員会学生赤十字奉仕団、秋田県立大学学生赤十字奉仕団、秋田大学学生赤十字奉仕団。部員数 1年生39名 2年生8名 3年生15名 合計62名 (2019年現在)

4月 総会(学内)新入生交流会



今年度の総会(学内)新入生交流会はノースアジア大学と合同でBBQを行いました!

5月 キッズタウン(学内)



学内で「キッズタウン」というイベントのボランティアを毎年行っています!小さい子どもたちとたくさん触れ合えるボランティアです。

7月 献血勉強会(献血センター)



献血についてを他の大学の奉仕団の団員と交流を深めながら一緒に学び、赤十字を知ることができました。

10月 団員研修会



他の大学の団員と一緒に赤十字についての知識を深めていく研修会です。今年度は点訳奉仕団の方からの講座や救急法の講座も行いました!

12月 全国学生クリスマス献血推進キャンペーン



秋田駅周辺で、献血の呼びかけを行いました。皆さんの協力のおかげで、目標人数を上回ることができました。

今年度はこの他に、乳児院ボランティア、秋田県学生サマー献血キャンペーン2019、ABSまつり乳児院ブースなどでもボランティア活動を行いました!

イベント・活動報告!

1年間を振り返って



冬季防災キャンプ 2月16~17日

2月16日~17日に、赤十字防災ボランティアステーション冬季防災キャンプを開催しました。このキャンプは、冬期に大規模災害が発生し、電気・ガス・水道等のライフラインが断たれた状況を想定し、災害時に役立つ「生きるための技術」を学ぶもので、赤十字雪上安全法講習会、冬季避難所設営、調理、テント泊といった活動を体験しました。

大学院学位論文発表会 2月22日

2月22日、大学院看護学研究科修士課程の学位論文発表会が開催されました。大学院生は指導教員の研究指導の下で、これまでのコースワークの学修や研究をもとに修士論文を執筆し、学位審査を経て学位が与えられます。この日は「修士」の学位にふさわしい研究の成果を、緊張ながらも堂々と発表しました。





学位記授与式

3月8日

3月8日、本学体育館を会場に学位記授与式が挙行されました。今回は看護学部109名、大学院修士課程9名、短期大学介護福祉学科20名、合計129名が学舎を巣立ちました。おめでとうございます。誰からも愛される立派な社会人になりますように。



FD研修会 3月20日

「ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ」

3月20日、岩手大学准教授の江本理恵先生をお迎えして、FD研修会「ティーチング・ポートフォリオ (TP) 作成ワークショップ」を開催しました。TPとは「大学教員が教育活動について振り返り、自らの言葉で記し、多様な根拠資料によって「これらの記述を裏付けた教育業績についての厳選された記録」です。すべての大学教員はTPを作成することにより、大学教員として自身の教育を俯瞰的に振り返り、教育研究業績の整理や改善につなげることが可能になります。





入学式 4月2日

4月2日、入学式が本学体育館において行われ、看護学部110名、大学院修士課程7名、短期大学介護福祉学科21名の計138名の新入生が、これまで慈しみ育てくださった保護者の皆さま、専任・兼任の教職員、両学科の実習施設ほか多くの方々の祝福の前で、「生きるを支える人になる」第一歩を踏み出しました。



学生の身を守る講習会 4月4日

4月4日、秋田東警察署のご協力で「学生の身を守る研修会」を開催しました。これは学生たちが日常に潜むさまざまなリスクやトラブルに巻き込まれることなく安全で快活な学生生活を送ることができるように、自分の身を自分で守ることを目的に毎年開催しているもので、看護大学・短期大学の新生133名が参加しました。



新入生交流会 4月5~6日

4 月5日~6日の2日間、大潟村の「サンルーラル大潟」を会場に、新入生交流会を開催しました。これは、今後の学生生活を快適に過ごすために、建学の精神を知り、赤十字の学生としての自覚をもつとともに他者との交流を通して人間関係を築くことを目的に、毎年開催しているもので、看護大学・短期大学の新入生133名が参加しました。



看護大学開学10周年 記念式典・講演会 4月26日

4 月26日、看護大学開学10周年記念式典が挙行されました。式典には来賓の方をはじめ、日ごろ御支援・御協力をいただいている実習施設の皆様、また、本学にゆかりのある方々をお招きしました。式典終了後には、「世界に広がる赤十字の国際救援～アフリカと中東の現場から～」と題して大阪赤十字病院 渡瀬淳一郎氏による記念講演が行われました。臨場感に溢れたお話は、赤十字の理念や活動を再認識する貴重な機会となりました。

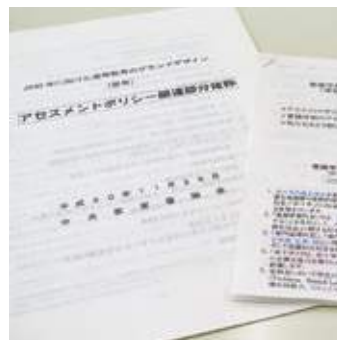
宣誓式 4月26日

4月26日、宣誓式を本学体育館において挙行し、看護学部の3年生120名と、短期大学介護福祉学科の2年生21人が参加しました。宣誓式は、学内での学びを経て本格的な施設実習に臨む学生たちが、対人援助のプロフェッショナルになるために、自らの目標を再認識し誓いを新たにするセレモニーです。



FD研修会「アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価の実施について」 5月9日

5月9日にFD研修会「アセスメント・ポリシーを踏まえた成績評価の実施について」を開催しました。アセスメント・ポリシーとは、学生の学習成果の評価について、その目的、達成すべき質的水準、評価の実施方法などについて定めた学内の方針です。この研修会では個々の教員が、ポリシーに基づく教育課程レベル及び授業科目レベルの学修成果の評価・検証の仕組み等の理解を深め、適切な成績評価の実施を行うために、看護学部長・介護福祉学科長・看護学研究科長の説明から一層の共通理解を深めることを目指しました。



5月26日

赤十字キッズタウン

5月26日に本学を会場に、赤十字のお仕事体験イベント「赤十字キッズタウン2019」が開催されました。このイベントは、子どもたちとその保護者の皆さんに、親子で一緒に赤十字施設のお仕事体験を通じて、赤十字の活動をよりよく知っていただくために、毎年この時期に開催されています。本学は地域貢献・国際交流委員会が秋田赤十字病院と合同で出展しました。本学学生も多数参加し、とても楽しいイベントとなりました。



6月13日

SD研修会「持続可能な大学経営のために」

6月13日、SD研修会「持続可能な大学経営のために」を開催しました。文部科学省の統計によれば2019年現在117.5万人の18歳人口が、2031年には103.3万人と実に14.2万人減少します。東北地方の人口減少率は全国で最も高く、中でも特に青森県、福島県、秋田県が顕著です。

研修会では、数ある大学から受験生に選ばれるため、学生の満足度を高めるため、教学の充実と財政基盤強化は車の両輪で、必要な資金が確保できなければ教育研究も継続できないことをさまざまなデータから学びました。



スポーツ・フェスティバル

6月22～23日

6 月22日～23日の2日間、学生スポーツの祭典「スポーツフェスティバル」が開催されました。学生たちはドッチボール、バドミントン、バスケットボール、フットサル、バレーボールの各競技で汗を流し、学部学科の垣根を越えて親交を深め合いました。



夏の オープンキャンパス

7月21日

7 月21日に夏のオープンキャンパスを開催しました。素晴らしい夏晴れの下、県内外から多くの高校生・保護者の皆さまにご参加いただきました。学生による学びの紹介や本学教員による模擬授業の様子に、熱心に耳を傾けてくださる姿がありました。相談コーナーでは、授業内容や普段の学校生活についてたくさんの質問が寄せられました。





秋のオープン キャンパス

9月21日

9月21日に秋のオープンキャンパスを開催しました。ドクターヘリ見学体験や、実習室での臨場感ある体験学習にも、多くの皆さんにご参加いただきました。学生スタッフからは、「来場者の皆さんが熱心に話を聞いてくれて嬉しかった、ぜひ入学してほしいです!」との声が聞かれました。



防災キャンプフェス

9月21~22日

9月21日~22日「2019AKITA防災キャンプフェス」を開催しました。いつ起こるかわからない災害に備え、防災教育とアウトドア術を楽しみながら、命をつなぐ知恵を身につけることを目的にした体験型イベントで、2日間で約4,600名が来場し、遊びの要素がたくさん詰まった「防災キャンプ」を体験していただくことができました。



災害救護訓練 9月25～26日

9月25日～26日の2日間、災害救護訓練を実施しました。これは将来の看護師・介護福祉士である学生たちが、災害時に行う救護活動や避難所での支援活動の全体像と活動時における支援者の役割を理解し、将来、災害救護活動の推進者として成長できるように基礎的能力を培うことを目的として、毎年実施しています。



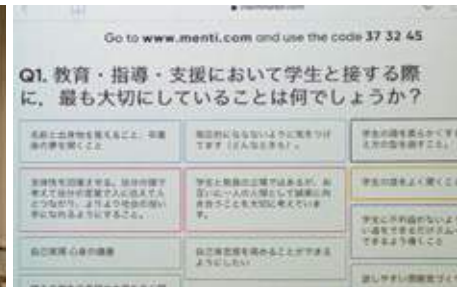
看護学部 9月27日 合同就職説明会

9月27日に看護学部の合同就職説明会を行いました。県内外27の病院から採用担当職員の方々が、それぞれの病院で活躍する卒業生たちと一緒に参加されました。学生たちは説明に熱心に聞き入り、各病院の勤務状況や院内教育の体制、福利厚生などの質問を投げかけ、将来の看護師としてのキャリアに対する関心と意識の高さがうかがえました。



大学コンソーシアムあきた 高等教育セミナー 10月12日

10月12日、本学が世話人を務めた第5回大学コンソーシアムあきた高等教育セミナーが、秋田市のカレッジプラザにおいて行われました。主催者挨拶に続いて、京都大学准教授の山田剛史先生による基調講演「大学における学生エンゲージメントと自立を促す支援としかけ」、続いて共通テーマ「正課内外で学生の主体性や自立を促す組織的な取り組み」をキーワードに、コンソーシアム構成機関の4つの大学の教員より、教育実践事例報告が行われ、フロアの参加者も交えた熱心なディスカッションが行われました。



11月13~15日

看護学部卒業研究発表

11月13日~15日の3日間、看護学部の卒業研究発表会が開催されました。卒業研究は看護における課題解決に取り組む基盤を身につけるため、4年生各自が関心のある研究テーマについて、具体的な研究計画書を作成して研究を進める授業です。皆さんは緊張しながらも、今まで努力してきた成果を精一杯、自作のポスターを使って発表していました。



THE 21ST CONFERENCE OF THE JAPANESE RED CROSS SOCIETY OF NURSING SCIENCE

第21回 日本赤十字看護学会学術集会

不確かな時の " 生きる " を支える看護

市民公開講座 (参加費無料)

令和2年7月5日 (SUN) 12:45 ~ 15:00

講座I 「世界に広がる赤十字 -その歴史と活動-」 講師 井上 忠男 (日本赤十字秋田看護大学 教授)
 講座II 「健康長寿を目指した健康づくり」 講師 重川 敬三 (日本赤十字秋田看護大学 講師)
 会場: 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学



高校生・保護者のための

Open Campus

第1回 令和2年7月19日 (SUN) 10:30~15:00

第2回 令和2年9月19日 (SAT) 10:30~15:00

第3回 令和3年3月20日 (SAT) 10:30~15:00

実施予定内容

- ドクターヘリ見学
- 個別相談
- 先輩たちと語ろうコーナー
- キャンパスツアー (学内見学)
- 学部学科紹介と教育内容
- 学生募集・入学試験の説明
- 模擬授業 (講義や体験)



看護学部



介護福祉学科



【本学へのご寄付のお願い】

本学は平成8年の開設以来、赤十字の「人道: Humanity」の精神を受け継ぐ、東北地方唯一の高等教育機関として、看護教育・介護福祉教育を行ってまいりました。現代社会や地域のニーズに応える新たな大学像を目指し、高大連携授業や出前講座の実施、大学院などを活用した学び直しの拡充などに今後も邁進してまいります。

■ ゆうちょう銀行 (郵便局) からの寄付の手続きについて

【大学 (看護学部) へのご寄付】

口座記号・番号: 02210-9-142099
 加入者名: 日本赤十字秋田看護大学

【短大 (介護福祉学科) へのご寄付】

口座記号・番号: 02200-1-122694
 加入者名: 日本赤十字秋田短期大学

【お願い】

○通信欄に、ホームページへのご芳名掲載希望の有無をご記入ください。○寄付金の使途にご希望のある方はお書き添えください。例) 実習室の充実・防災教育の推進・職員研修の充実など

【税制上の優遇措置】

本学への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付として、所得税の税制上の優遇措置を受けることができます。寄付受領後に、免税に必要な「受領書」などをお送りします。

寄付の詳細は
 本学公式
 Webサイトを
 ご覧ください。

【問い合わせ先】

事務局 経理課
 電話: 018-829-3014
 FAX: 018-829-3030
 E-mail: keirika@rcakita.ac.jp